

発達障害 笑顔で

向き合つ

「それ、あるあるある！」

大阪のウェブ制作会社「ウェブレイス」のオフィスは月に1回、総務が敷き詰められる。「発達あるあるカフェ」というイベントのために使用される。

発達障害を持つ人、支援者などが集まり、発達障害についてひとりごとめもなく話し合う。総務はビールもあり、軽食の上での車座になるた

めだ。「発達障害であるがちなどをお題

りがちな」とお題

フエ」だ。

発達障害とは自閉症、アスペルガー症候群その他の広範性

発達障害、注意欠陥多動性障害（ADHD）

D（学習障害（LD）などの総称。障害を抱えている人に共通

・建山和徳氏らが今年8月に設立した発達障害を持つ人々を支援する団体だ。

選れないように工夫してある。

みがくは、就労移行事業所で働く知人

の寺谷卓也さんと共に立ち上げた。寺谷

さんが支援企業を訪ねる際に社長がこう

いる、可能性を狭め

つぶやいた。「うちほんでも障害者を摘。悩む寺谷さんは受け入れる。しかし

久しくぶりに再開した

建山さんにこのこと

がある。自覚のない

まま社会的に孤立し

れない。



「発達障害もさまざま。そのことを多くの人々に知ってもらいたい」と話す建山氏

にかかわらず利用してもらつ組織を目指しています」。発達障害の特性から自覚の

ない人もいる。そういう人たちも支援していただきたい」という。発達障

害の特性から自覚のない人が急逝す

った。回復に向う中、自分を支援してくれ

ていた人が急逝す

った。回復に向う中、自分が発達あるあるカフェだ。みがくのスタッフでカフェの世話役、中野広子さんが「みがく」の活動を始めた。みがくの活動はその恩人への返答の一つだと思って

いる。障害を持つ人のたたかいでいる。同時に一般の人の理解を深めたいとも考えている。そのため、「発達あるあるカフェ」だ。みがくのスタッフでカフェの世話役、中野広子さんが「みがく」の活動を始めた。みがくの活動はその恩人への返答の一つだと思って

いる。同時に一般の人の理解を深めたいとも考えている。そのため、「発達あるあるカフェ」だ。みがくのスタッフでカフェの世話役、中野広子さんが「みがく」の活動を始めた。みがくの活動はその恩人への返答の一つだと思って

障害を持つ人の可能性を狭めていたことに気づく

を支援する組織として

ては、就労移行事業

所と就労継続事業所

があるが、みがくは

それが違うとい

う。建山さんが説明

さんが支援企業を訪

ねた際に社長がこう

いる、可能性を狭め

つぶやいた。「うちほ

んでも障害者ができる仕事はこれ」と知らず

に立ち上げた。寺谷

事はこれ」と知らず

に立ち上げた。寺谷

事はこれ」と知らず